

授業科目	臨床心理学概論				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	水貝 洵子										
授業概要	<p>臨床心理学は、ひとの問題行動や心理的不適応の改善、こころの健康や発達の促進を目指す専門的介入の基礎をなす実践の科学である。本講義では、臨床心理学の源流となっている諸理論及び臨床心理学的実践の基本的考え方について取り上げる。</p> <p>担当教員は、臨床心理士として大学学生相談、医療機関でのカウンセリングと心理検査の実施、地域での子どもの発達相談等に従事した実務経験を有する。本講義は、これらの実務を行う上で基礎とした臨床心理学の歴史、臨床心理学の理論、臨床心理学的援助、心理アセスメントの概要を解説するものである。</p>										
授業形態	講義	授業方		法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 臨床心理学の歴史や現状などの概要、および現在の心理学的介入の源流となる諸理論、現在の心理臨床において用いられている心理療法の基本的考え方について説明することができる。</p> <p>2. 心理アセスメントの意義について理解し、心理検査の種類と適切な使用法について説明できる。</p>										
理想的レベル	<p>1. 臨床心理学の歴史や現状などの概要、および現在の心理学的介入の源流となる諸理論、現在の心理臨床において用いられている心理療法の基本的考え方について、臨床への応用についてふれながら適切に説明することができる。</p> <p>2. 心理アセスメントの意義について適切に理解し、心理検査の種類と適切な使用法について正確に説明できる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験	70%										
小テスト											
レポート	30%			毎授業にて提出を求める質問感想シートを指す							
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21411J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
該当部分の復習										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：臨床心理学の歴史と現状1</p> <p>臨床心理学の定義や歴史、臨床心理学の対象について概説する。</p>										

第2回	テーマ：臨床心理学の歴史と現状2 臨床心理学における援助の方法、実践領域について概説する。
第3回	テーマ：精神分析理論と精神分析療法1 精神分析理論の成り立ち、精神分析理論における心的構造、自我の防衛機制など精神分析理論の基礎について概説する。
第4回	テーマ：精神分析理論と精神分析療法2 精神分析的発達論、精神分析理論の発展について概説する。
第5回	テーマ：ユング心理学 ユング心理学の基礎理論について解説を行う。後半は、芸術療法について説明する。
第6回	テーマ：ロジャーズの理論とクライエント中心療法 クライエント中心療法の成り立ち、カウンセリングにおける6か条、セラピストの基本的態度について概説する。
第7回	テーマ：学習理論と行動療法 学習理論の成り立ちと学習理論を基礎とする行動療法の概要について解説する。
第8回	テーマ：認知行動療法とその広がり 行動療法から展開した認知行動モデルの考え方や基本的な介入技法について概説する。
第9回	テーマ：解決志向療法 解決志向療法の基本的考え方について解説する。後半は、解決志向療法の実際について紹介する。
第10回	テーマ：日本で生まれた心理療法 日本で生まれ発展した独自の心理療法である森田療法や動作療法について紹介する。それぞれの基本的考え方について解説する。
第11回	テーマ：心理アセスメント1 心理アセスメントの目的、方法、留意点について概説する。
第12回	テーマ：心理アセスメント2 発達検査について解説する。
第13回	テーマ：心理アセスメント3 知能検査について解説を行う。
第14回	テーマ：心理アセスメント4 パーソナリティ検査について解説を行う。
第15回	テーマ：まとめ これまでの授業内容をまとめ振り返りを行う。
テキスト	なし。適宜、授業内で資料を配布する。
参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介	「心とかかわる臨床心理 基礎・実際・方法 第3版」川瀬正裕・松本真理子・松本英夫著 ナカニシヤ出版 「わかりやすい 臨床心理学入門」小山望編著 福村出版

課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する質問やコメントについては、適宜授業内で紹介し回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	心理学と心理的支援Ⅰを履修しておくことが望ましい。心理学と心理的支援Ⅱを同時に履修していることが望ましい。 関心をもった問題について文献を探し読むなど、積極的に学ぶ姿勢を期待する。